

見守り
新鮮情報

掃除中の 転倒・転落事故 に気を付けて!

事例1 脚立¹の上で、団地内の掲示板の
屋根を掃除していたところ転落し、
救急車で運ばれ入院した。

頭を打ったようだ。

(60歳代 男性)



©Kurosaki Gen

事例2 掃除機²を使用
中、カーペット
からフローリングになった
途端に吸引力が軽くなり、
掃除機に引っ張られて

転倒した。その後、腰の
痛みが続き病院で受診
すると、腰椎の圧迫骨折³
と診断された。

(80歳代 女性)

ひとこと助言

- 転落事故の防止には、まず転落の危険を回避することが大切です。脚立やはしごを使用する際は、安定した足場に置き、片方の手で固定された家具などにしっかりつかまるなど、慎重に作業しましょう。
- 小さな段差など、つまずきの原因になりそうなものをできるだけなくし、足元が見えづらい場所には明るい照明器具などを増やすなど転倒を防止する環境を整えましょう。
- 高齢になると、筋力や平衡感覚などの身体的機能が低下し、また、骨折しやすくなる傾向があります。届くと思ったところに届かずバランスを崩して転落することもあります。無理な作業は控えることも大切です。



本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第439号 (2022年12月6日) 発行：独立行政法人国民生活センター



消費生活トラブルは、
ひとりで悩まず、相談しよう!

消費者ホットライン
188 (いやや)

岩手県立県民生活センター【消費生活相談電話】019-624-2209
平日9:00~17:30、土日10:00~16:00 (年末年始・祝日休み)